

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第八小学校通学区域
開催日時	平成26年8月7日(木) 午後7時から午後8時45分まで
会場	残堀・伊奈平地区会館 集会室
参加者	市長の出席(有・㊟) 市民11名、地域担当職員3名 社協職員2名 合計16名(うち男性 13名 女性 3名)
(議題等)	
1 各グループの討議	
2 各グループの発表	
3 その他	
① 次回検討事項について	
② 次回の開催日について	
(会議の内容)	
1 各グループの討議	
(事務局) ・各グループの前回の討議内容の説明(現状の把握)	
2 各グループの発表	
Aグループ	
老人会、地域団体、防犯、環境等様々な問題のうち、環境問題、防犯問題について焦点を絞った。	
環境問題については、身近な残堀川に親しんで地域の活性化を図っていききたい。そのために、各団体がバラバラに行っている清掃活動を我々が声掛けをし、合同で行ったらどうか。また、各種イベント(芋煮会、魚の観察会等)を同時に開催し、残堀川に親しみを感じてもらえればいいのではないかと考え、そのための活動を行う。	
防犯問題についても同様に各団体がバラバラに防犯パトロール等を行って子供たちの安全に寄与しているが、横のつながりがなく、いつ、どこをパトロールしているかもわからない状況である。そこで、各団体の活動のつながりを持たせるため、情報交換会や連絡網の確立などのための連絡会議開催等の調整的な活動を行う。	
Bグループ	
防災、自治会、コミュニティ、安全対策、少子高齢化等様々な問題の中で共通点として考えられることは、各団体の相互間の交流の機会がない、横のつながりがない等のことでBグループとしては、最終目標として「祭り」を開催することではないかと考えた。	
方法としては、具体的なことはないが、既存の祭りに参加するとか、新たな祭りを開催するとか。いろいろ考え、地域住民がつながりを持てるようなことを行いたい。	
Cグループ	
行政、防災、医療、健全育成、高齢者、自治会、コミュニティ、安全対策、少子高齢化等様々な問題が抽出されたが、問題解決の基本となることは、「挨拶をかわせる」まち	

づくりではないかと考えた。
方法としては、行政の力を借り、「ポスター」を作ってもら。「ホームページ」や回覧で「挨拶をかわせる」まちづくり運動を広げる。腕章を作る等のことを進めていく。
また、皆が協力するには、宴会等（酒）も有効な手段と考える。
「挨拶をかわせる」まちづくり運動を進めることにより、親から子、又、お年寄りへと輪を広げて行きたい。
（その意見等）
*挨拶をすると子供は逃げる。高学年は恥ずかしがる。親同士も挨拶をしない。
*イベントの後は酒も必要。酒が入ると「素が見え」親しくなれる。等の意見も出された。
3 その他
① 次回検討事項について
（会長） 全体として最終的に方向性を出していく。
② 次回の開催日について
（会長） 平成26年11月6日（木）午後7時から開催する。
（次回予定）
日 時 平成26年11月6日（木）午後7時から
会 場 残堀・伊奈平地区会館 集会室
議 題 等 グループ討議・全体として最終的に方向性を出していく。